

平成 23 年 3 月 25 日  
大阪府立今宮高等学校  
校長 糺 秀 章

## 平成 23 年度 府立今宮高等学校 経営計画

### 1 めざす学校像

総合学科の特色を活かして、自らが学び創造する喜びを持ち、本当の自分を見つけ、21 世紀を高い志を持って、社会貢献を通して自己を実現する生徒を育成する学校。

- ・生徒がしっかりと考え、自分の考えを積極的に表現する授業。
- ・生徒の進路希望および興味関心に応え、学力を伸ばす選択科目とカリキュラムの設定。
- ・生徒が主体的に学校づくりに参加することをめざした自主活動の育成。

### 2 中期的目標

#### (1) 自己実現のための学力保障

- ・新教育課程に対応し、生徒・保護者のニーズに応えうるカリキュラムの編成
- ・今宮総合学科として生徒の学習意欲と学力向上につながる特色ある選択科目の創出
- ・研究授業の推進や生徒による授業評価を活用した授業力と学校全体の教育力の向上
- ・家庭学習の定着など自学自習と自主的・主体的に学ぶ態度の醸成

#### (2) 高い志を持って進路を切り開いていく力の育成

- ・「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「課題研究」を軸とした 3 年間を通じた「今宮志学」のプログラムの完成
- ・「考える力」「伝える力」「まとめる力」の育成をめざした生徒自治会活動、クラブ活動、クラス活動、学校行事など生徒相互の取組みの支援と育成

#### (3) 一人ひとりの生徒の有する課題の支援体制の充実

- ・生徒相談体制の充実と支援を必要とする個別の指導体制の構築
- ・ICTを活用した生徒情報の教職員間における情報共有化と校務の効率化による教員の生徒と向き合う時間の確保

#### (4) 開かれた学校づくりの推進と学校情報の発信の充実

- ・オープンスクールや中学校訪問、説明会、ホームページのより一層の充実による学校情報の発信
- ・教養講座の充実や地域の行事への積極的な参加による地域貢献
- ・PTA活動のより一層の充実と保護者参加の学校づくりの推進

### 3 本年度の重点目標と取組み

|      | 目標                     | 取組計画  |
|------|------------------------|---|
| 取組み① | 自己実現のための学力保障           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○3学期制への円滑な移行               <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より三学期制となるが、各種行事、考査、成績処理等の見直しを行い、3学期制が有効に機能する体制を構築する。</li> </ul> </li> <li>○新教育課程への対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度からのカリキュラムの構築</li> <li>・24年度より実施する45分7時間授業の体制の整備</li> </ul> </li> <li>○授業力の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業アンケートの年2回実施し、その結果を分析し活用して授業力の向上を図る。</li> <li>・これまで以上に授業研究を推進し、授業力の向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○多様な希望を持つ本校生徒の進路実現の支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業選択ガイダンスの充実</li> <li>・生徒の学習量の向上を図るために、放課後、土曜日、長期休業中の講習を継続して実施するとともに、より多くの生徒の参加を促す。</li> <li>・加えて、自習室の活用を生徒に促し、自学自習力の向上と家庭での学習量の充実を図る。</li> </ul> </li> </ul> |
| 取組み② | 高い志を持って進路を切り拓いていく力の育成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見据えた「今宮志学」の創造               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今宮志学」プロジェクトチームを核として本年度入学生より実施する。</li> <li>・「産業社会と人間(1年)」「総合的な学習の時間(2年)」「課題研究(3年)」の体系化</li> <li>・生徒の学習意欲を高める内容の構築</li> </ul> </li> <li>○生徒の「協働力」「探求力」「発信力」の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション力・調整力・問題解決能力の育成のためのグループ活動の充実。</li> <li>・計画力・行動力・洞察力・クリティカルな思考力の育成のための体験的学習やICTの活用を推進。</li> </ul> </li> <li>・プレゼンテーション能力・企画力を育成するための生徒が発表をする機会と場の創出と提供。</li> </ul>  |
| 取組み③ | 一人ひとりの生徒の有する課題の支援体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校務の効率化による指導時間の確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内委員会体制の再編を引き続き行い、円滑な校務運営ができるような体制整備。</li> <li>・ICTを活用し、会議資料の電子化を進め、職員会議等の会議の効率化推進。</li> <li>・共有フォルダや部屋予約で活用している校内イントラネットの活用による出欠管理・成績処理・調査書作成の円滑な実施。</li> </ul> </li> <li>○個々の生徒の状況に応じた指導体制の構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・活用に向けた校内委員会の設置と支援教育コーディネーターの設置</li> <li>・教育相談委員会を中心とした相談活動の充実と情報の共有化</li> </ul> </li> </ul>  |